

第二辑

中国の若者は日本

をどう見ているか

中国青年感知日本



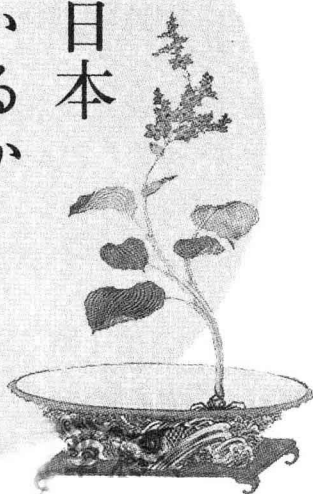
中国青年报社
日本科学协会 主编
人民中国杂志社

「笹川杯」征文大赛获奖作品集

金城出版社
GOLD WALL PRESS

第二辑

中国の若者は日本
をどう見ているか



中国青年感知日本

中国青年报社
日本科学协会 主编
人民中国杂志社

图书在版编目 (CIP) 数据

中国青年感知日本. 第2辑: 汉日对照 / 中国青年报社, 公益财团法人日本科学协会, 人民中国杂志社主编. —北京: 金城出版社, 2012. 12

ISBN 978-7-5155-0654-8

I. ①中… II. ①中… III. ①中日关系—友好往来—文集—汉、日 IV. ①D822.231.3-53

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2012) 第 304180 号

中国青年感知日本 (第二辑)

编 者 中国青年报社 公益财团法人日本科学协会 人民中国杂志社

责任编辑 柯 湘

文字编辑 杨国辉

开 本 710 毫米 × 1000 毫米 1/16

印 张 13

字 数 200 千字

版 次 2013 年 1 月第 1 版 2013 年 1 月第 1 次印刷

印 刷 北京金瀑印刷有限责任公司

书 号 ISBN 978-7-5155-0654-8

定 价 29.00 元

出版发行 **金城出版社** 北京市朝阳区和平街 11 区 37 号楼 邮编: 100013

发 行 部 (010) 84254364

编 辑 部 (010) 64210080

总 编 室 (010) 64228516

网 址 <http://www.jccb.com.cn>

电子邮箱 jinchengchuban@163.com

法律顾问 陈鹰律师事务所 (010) 64970501

前 言

大岛美惠子

公益财团法人 日本科学协
会会长



今年是中日恢复外交关系 40 周年，也是 2012 “中日国民交流友好年”。为了扩大中日国民之间的交流，增进相互理解，在中日两国已经和将要举办各种纪念活动。在这种友好的氛围中，作为“中日国民交流友好年”活动之一，我们出版“笹川杯有奖征文大赛”优秀作品集《中国青年感知日本——中国青年如何看日本》（第二辑），将获奖作品奉献给更多的读者。这件事意义非常深远，作为主办者之一，我们感到十分高兴。

“笹川杯·感知日本”有奖征文大赛，是由日本科学协会、中国青年报社、人民中国杂志社共同实施的、以中国青年为征文

对象的国际交流项目，2008年作为“中日青少年友好交流年”系列项目之一开始实施；在今年，该活动又作为“中日国民交流友好年”的项目之一，并迎来了活动举办的第5个年头。期间，经历了四川大地震、世界金融危机、地球变暖、东日本大地震等各种历史性事件，我们关注着社会的变化，倾听着时代的声音，一直在推进这个项目，使“笹川杯有奖征文大赛”顺利地向前发展。四年间，应征作品累计超过33,000件，应征者的范围遍及全中国。无论是在中国还是在日本，从来未曾有过这么多人参加一个中日交流项目，这使我们感受到“笹川杯有奖征文大赛”的影响之大。但是，重要的并不只是这些数字，与这些数字记录的意义相比，更重要的是有这么多中国年轻人认真地对日本进行思考这一事实。我们从内心期待着这些年轻人能够成为未来引导中日关系的人才。

这次我们收录在这本“作品集”中的，是2011年和2010年两届“笹川杯有奖征文大赛”的最优秀作品，这些作品也反映了征文举办当时的时代烙印。围绕着东日本大地震、中日文化的差异、环境问题等题目，应征者对这些发生在身边的问题进行咀嚼、展开，以独自的视角引出结论，作品中投射着有着各种背景的中国年轻人的多种多样的日本观。从中，我们感受到了他们的慈爱之心、不偏不倚的姿态、冷静的判断，以及建设性的意见。这些，具有吸引读者心灵的强大力量。

我衷心地希望，中国读者能够通过阅读和感知自己同胞所写下的丰富多彩的日本观，也来思考日本、关心日本。我也衷心地希望日本读者能够通过阅读和感知中国人写下的这些日本观，重新认识自己的国家。同时，我希望此书能够成为中日两国读者关心对方国家的契机。

中日恢复外交关系后，经历了 40 年的时间，中日关系无论在经济上还是在政治上，都有了惊人的发展。现在，中日两国之间的关系已经无法分割。但是，在中日两国之间的民族感情方面又是如何呢？彼此是不是对对方的国家以及国民的理解还不够充分，或者不太了解？而且，这些是不是造成双方有时产生摩擦、造成中日关系停滞的一个原因呢？我常常在思考，发展健全而稳定的中日关系，必须要促进两国的相互理解，增强两国之间的信赖关系，那是应该在每个国民、在草根水平上实现的事情。举办“笹川杯有奖征文大赛”，出版“作品集”，也正是出于此目的。

最后，借此机会，我要向为“笹川杯有奖征文大赛”以及本“作品集”的出版给予协助的各位人士表示深深的谢意。对日本财团的特别赞助、全日本空输株式会社的赞助，对中华全国青年联合会、日本国驻中国大使馆、中日友好协会、中国国际广播电台、中国高校传媒联盟等单位和机构的支援，表示深深的敬意和感谢。同时，对共同实施这个项目的中国青年报社徐文新社长、人民中国杂志社徐耀庭社长，以及事务局的中国青年报社陈为民主任、高鑫诚副主任，人民中国杂志社孙立诚部长等各位的全身心投入表示衷心的感谢。

前書き

日中国交正常化 40周年にあたる今年は 2012「日中国民交流友好年」とされ、両国においては、日中国民交流の拡大と相互理解の増進を目的とする様々な記念事業が盛んに行われております。こうした友好気運の高まりの中、「日中国民交流友好年」活動の一環として、「笹川杯作文コンクール」の集大成とも言うべき「優秀作品集」（第二弾）—『中国青年感知日本—中国の若者が日本をどう見ているか』—を出版し、多くの皆様にお届け出来ますことは大変意義深いことであり、主催者として大きな喜びを感じております。

「笹川杯作文コンクール—感知日本—」は、日本科学協会が、中国青年報社、人民中国雑誌社とともに中国の若者を対象に実施している国際交流事業で、2008年に「日中青少年友好交流年」事業として誕生し、今年 2012年には「日中国民交流友好年」事業として 5年目を迎えました。この間、四川大地震、世界金融危機、地球温暖化、東日本大震災など様々な歴史的変動を経験してきましたが、私どもは、社会の変動に目を向け、時代の声に耳を傾けながら事業を推進し、本「コンクール」を順調に発展させて参ることができました。これまで 4年間の応募作品は累計 33,000点を超え、応募者のすそ野はほぼ中国全土に及

んでおります。中国においても日本においても、これ程多くの参加者を得た日中交流事業は他になく、本「コンクール」の影響力の大きさを改めて感じているところです。しかし、ここで重要なのは、この数字の記録的な意味よりは、寧ろ、これほど多くの中国の若者が日本について真剣に考えたという事実であり、これらの若者が将来の日中関係をリードする人材になってくれることを心から期待しております。

こうした成果を踏まえ、今回、私どもが本「作品集」に収録したのは、昨年と一昨年の各「コンクール」の最優秀作品等で、それぞれ時代を映すテーマに沿って綴られた 2 年分の“感知日本”です。東日本大震災、日中文化の相違、環境問題等のテーマを身近な問題として捉え、咀嚼し、発展させ、独自の視点から導き出した結論には、様々な背景を持つ中国の若者の多様な日本観が投影されており、そこから感じられる慈愛の心、不偏の姿勢、冷静な判断、建設的な意見には、読む人の心を惹きつける強い力があります。

中国の皆様には、同胞が綴った多彩な日本観を通して、是非とも日本について考えていただきたい、また関心を持っていただきたいと思います。さらに、日本の皆様にとっても、中国人の綴ったこれらの日本観が、自分の国を再認識するのみならず、相手の国について考え関心を持つ契機となることを切に願っております。

国交正常化から 40 年を経て、日中関係は経済的にも政治的にも目覚ましい発展を遂げ、今や両国は不可分の関係になっております。しかし、両国の国民感情については、どうでしょうか。相手の国や国民に対する理解が十分ではない、或いは、よく知

らない、ということはないでしょうか。そして、このことが時として摩擦を生み、日中関係を停滞させる一因となっているのではないのでしょうか。日中関係の健全且つ安定的発展のためには、両国の相互理解の促進と信頼関係の増進が不可欠であり、それは国民一人一人の草の根レベルからも達成されていくべきではないかと、私は常々考えております。そして、私どもが本「コンクール」を実施し、本「作品集」を出版する所以もそこにあるのです。

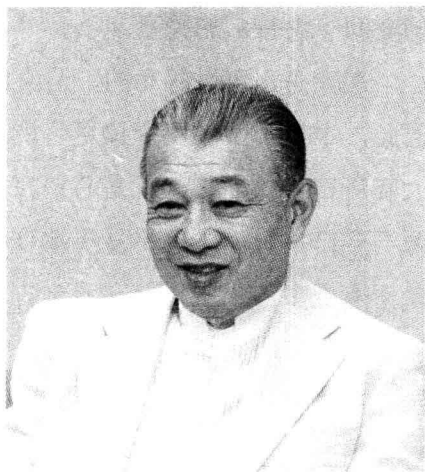
最後に、本「コンクール」及び本「作品集」の出版にあたってご協力いただきました関係各位には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、日本財団による特別協賛、全日本空輸株式会社によるご協賛、中華全国青年聯合会、在中国日本国大使館、中日友好協会、中国国際放送局、中国高校伝媒聯盟によるご後援に対しましては、深甚なる敬意と感謝の意を表します。さらに、中国側共催者である中国青年報社徐文新社長、人民中国雜誌社徐耀庭社長を始め事務局の中国青年報陳為民主任、高鑫誠副主任、人民中国雜誌社孫立誠部長等の方々の多大なご尽力に対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

公益財団法人 日本科学協会
会長 大島美恵子

出版寄语

笹川阳平

日本财团会长



在“中国青年感知日本”

第二辑出版之际，作为笹川杯征文大赛赞助方日本财团的会长，为集笹川杯征文大赛优秀作品之大成的本书的出版，我感到十分高兴。借此机会，我要向笹川杯征文大赛的主办单位中国青年报社、人民中国杂志社、公益财团法人日本科学协会，向为本书的出版作出巨大努力的中日两国相关人员表示感谢和祝贺。

笹川杯征文大赛，是出于促进中国青年对日本的理解这一目的，于2008年开始实施的。4年间，主办单位总共征集到了33,000多篇征文。为这项民间举办的高水准活动影响力迅速扩大感到惊喜的同时，我也衷心祝愿这个项目能够继续举办下去，

并越来越有影响力。

国与国之间的关系，尤其是邻国之间的关系，在任何时代都会有难题缠绕。但是，从中日关系 2000 年的漫长历史来看，我认为，除了在现代史上的某一个特定时期之外，中日关系史即使在全世界，也可以说是罕见的友好历史。尤其在近些年，大量的中国商品及食品已经渗透到日本人的日常生活中；同时，许多日本企业到中国投资。中日民众往来的增加，都进一步加深了两国之间一衣带水的关系。

国家是不可以移动的，无论发生什么事情，都必须相互面对。因此，中日两国国民应该尽可能地多了解对方。我对笹川杯征文大赛所寄予的期待，就是希望在中国青年中尽量多地产生“知日派”，日本青年中也尽量多地产生“知华派”。出于此目的，我希望有更多的中国青年和日本青年读到这本书，读到这些中国青年感知日本的文章。

在本书出版之际，我再次阅读了本书收录的优秀作品。其中，有关于通过茶文化重新认识中日两国历史联系的作文，有对日本行人优先的交通规则、垃圾分类回收、日本人的礼貌和认真深有感触的作文。尤其是“不能因为对历史有深刻仇恨的记忆，而错误地解读真实的日本”这篇自戒的作文，给我留下了深刻的印象。还有一篇以 2008 年四川地震和 2011 年东日本地震中中日双方相互帮助为题材的作文，通过从日本寄来的一个苹果和一封信，让中国民众感受到了日本人的善意。那篇亲切鼓励在地震中失去母亲的日本少女的作文，也让我记忆犹新。

这些征文作品使我再一次感到，只有了解对方，才会对对方产生正确的评价，视线也会变得更加柔和。

2012 年的中日联合舆论调查结果显示，对对方国家“持有不

好印象”的人，在日本受访者中高达 84%，在中国受访者中也高达 65%。这让我感到，如果中日双方民众在不了解对方的情况下对对方持有不好的印象，是不会产生真正的友好的。这让我更加感觉到互相了解对方的必要性和迫切性。

在对本书的出版表示祝贺的同时，我向读者做出承诺：我们将继续努力支持今后的笹川杯征文大赛，为促进中日民众之间的相互理解尽一份绵薄之力。

出版に寄せて

笹川杯作文コンクールを支援させていただいている日本財団会長として、コンクールの集大成ともいえるべき「中国青年 感知日本」の第二弾出版をうれしく思い、コンクールの主催者である中国青年報社、人民中国雑誌社、公益財団法人日本科学協会、さらに本書の出版に尽力された日中両国関係者にお礼とお祝いを申し上げます。

作文コンクールは中国の若者の日本理解の促進に向け 2008 年にスタートしました。この間、33,000点を超す作文が寄せられ、すそ野の広がりには驚くと同時に、さらなる発展を祈らずにはいられません。国と国との関係、とりわけ隣国関係にはいつの時代も難しい問題が付きまといまいます。

しかし日中関係は2000年という長い歴史のスパンで見れば、近現代史の一時期を除き、世界でも稀有な友好の歴史であったと思います。特に近年は、中国の大量の商品や食料品が日本人の日常生活に広く浸透しています。一方で多数の日本企業が中国に進出し、一衣帯水の両国関係は一層深化しています。

国は引越すことはできません。何があろうと互いに向き合っていかなければならないのです。そのためには両国民が少しでも相手のこ

とを知る必要があります。私が作文コンクールで期待するのは、一人でも多くの中国の若者に「知日家」になってほしいということです。日本の若者も「知中家」になる必要があります。そのために、一人でも多くの日中の若者に本書を読んでほしいと思います。

出版に当たり、本書に盛り込まれた優秀作品をあらためて読ませてもらいました。茶文化を通じ両国の歴史的なつながりを改めて確認し、歩行者優先の交通マナーやごみの分別収集に日本人の礼儀正しさや真面目さを感じ取った作文もありました。「歴史の深い恨みの記憶によって、実際の日本を読み間違えることがあってはならない」と自戒した作文も印象に残りました。

日中双方が助け合った 2008年の四川大地震や 2011年の東日本大震災を題材に、日本から送られたひとつのリングと手紙に日本人の善意を感じ取り、一方で大震災により母を失った日本の少女をやさしく励ます作品もありました。相手を知ることが正しい評価、優しい目線を生むことを改めて実感します。

2012年版の日中共同世論調査によると、相手国に「よくない印象を持つ」と答えた人は日本側 84 %、中国側 65 %に上っています。相手を知らないまま互いに悪い印象を持てば、真の友好は生まれません。もっと相手を知る努力をするべきです。本書、さらに今後の作文コンクールが、ささやかでも日中の相互理解に役立つよう、引き続き努力することを、お約束し、出版のお祝いに代えさせていただきます。

日本財団

会長 笹川陽平

目 录 もくじ

前 言 / 1

前書き / 4

出版寄语 / 7

出版に寄せて / 10

2010 年度获奖征文

我与田中先生切磋茶道 / 1

私と T 先生の茶道研究 / 5

访日感想：在金阁寺感受日本人的谦和 / 9

金閣寺で日本人の穏やかさを経験 / 11

日元上的“文化英雄” / 13

日本円に描かれた“文化的英雄” / 16

访日感想：在日本，人们不羡慕富人 / 20

日本ではお金持ちが羨まれない / 22

分类精神 / 24

分類する心 / 27

访日感想：一路恍惚，仿佛回到古代中国 / 31

道中の恍惚、古代中国に戻ったような / 33

在中日工作营中求同存异 / 35

中日ワークキャンプでの共通点と相違点 / 38

访日感想：站在日本反观中国 / 42

日本に立って中国を顧みる / 44

日本的“小气”与“大气” / 46

日本の「けち」と「豪放さ」 / 50

访日感想：交融的日文和汉字 / 54

溶け合う日本語と漢字 / 56

前行路上的文化明灯 / 58

行く手を照らす文化のともしび / 62

访日感想：先前的了解太肤浅 / 66

以前の理解は浅すぎた / 67

想穿上美丽的和服 / 69

美しい着物への憧れ / 71

访日感想：在细节中邂逅日本 / 73

細部から日本を見る / 75

一起和月亮打个招呼吧 / 77

一緒に月に挨拶をしよう / 80

获奖感言：幸运中的遗憾 / 83

幸運の中の残念な思い / 84

访日团随行记：用智慧化解分歧 用爱心开创未来 / 85

知恵を使って相違を解消し、愛で未来を開く / 91

2011 年度获奖征文

良法助美德养成 / 98

良き法は、美德を養う支えとなる / 102

访日感想：澄澈童心 / 106

清く澄んだ童心 / 108

平视对方 / 110

フラットな視点で / 113

访日感想：初识之旅 / 117

初めて知る旅 / 119

妖怪文化与敬畏之心 / 121

妖怪文化と畏敬の心 / 125

访日感想：现世安稳 / 129

現世は安穩 / 131

泥土下的尊严 / 133

土の下の尊厳 / 136

访日感想：祈福之地 / 140

祈りの地 / 142